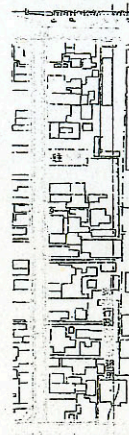
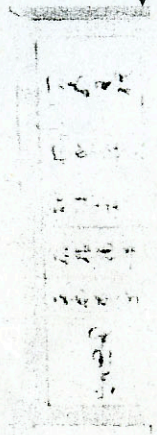
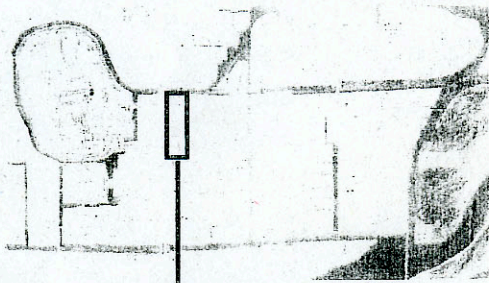


② 地割の変化



延享絵図
(1744~1748年ごろ 江戸中期)
6戸：平均 約2,600㎡

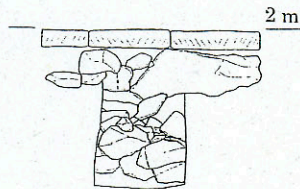
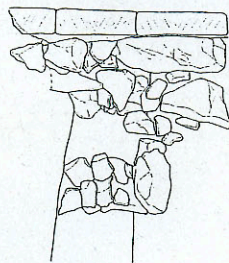
松江市街二分間図
(1873年 明治初期)
53戸：平均 約295㎡以下

都市計画図
(住宅地図) (現代)
72戸：平均約217㎡

③ 道路・水路幅員の変化

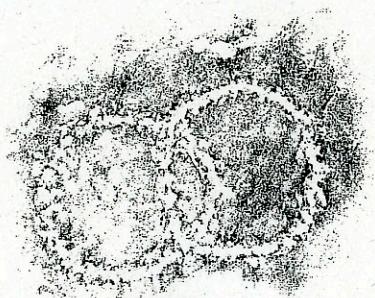
江戸時代	11.93 m	0.60m	10.73m	0.60m
明治後期	12.14 m	0.69m	10.72m	0.73m
現代	12.00 m	1.00m	9.50m	1.50m

④ 屋敷側側溝の構築状況



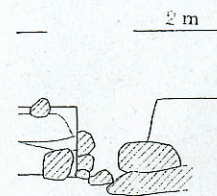
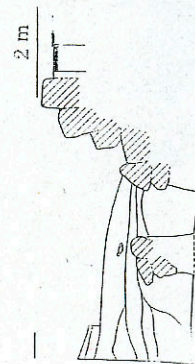
縮尺 1/40

⑥ 側溝石材の刻印



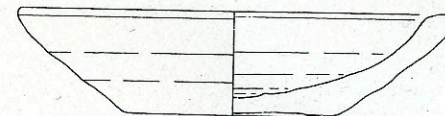
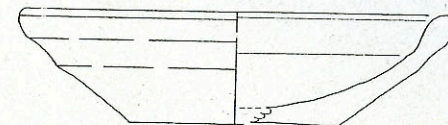
「輪違い」紋
堀尾家の家紋である
縮尺 1/4

⑤ 城下町造成遺構か?



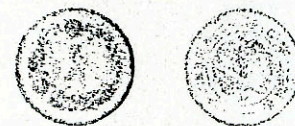
縮尺 1/40

⑦ 胞衣容器と古銭



素焼きの皿 (鉢?)

縮尺 1/2



明治10年製の半銭銅貨

* ②、③は『「大手前通りの歴史を調べる会」調査結果報告書』
大手前通りの歴史を調べる会 (平成16年10月) から転載